

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高1	理科	生物基礎	2	SSコース
教科書・副教材		数研出版「高等学校生物基礎」、数研出版「リードα生物基礎」、第一学習社「二訂版 スクエア最新図説生物」		

科目の目標			
生命現象の本質を「なぜそうなるのか」という論理的根拠から解明する姿勢を養い、難関大学入試や共通テストを突破するための盤石な思考力とデータ分析力を構築する。日々の学習を基盤としつつ、対話やアウトプットを通じた知の深化と、事象の背後にある法則性を探る探究的な思考を重視し、多様な評価（定期考査・小テスト・リフレクションシート・レポート等）を通じて、未知の課題に対しても科学的なエビデンスに基づき自らの考えを論理的に構築・発信する力を習得することを目指す。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 生物学の基本的な概念や原理（細胞、遺伝、恒常性、生態系など）を体系的に理解し、共通テストや一般入試において高得点を得るための確かな知識が身についている。 - 生命現象を単なる暗記ではなく、「なぜそうなるのか」というメカニズムの観点から深く理解している。	- 共通テストの傾向に合わせ、初見の図、表、グラフから必要な情報を抽出・分析し、科学的な根拠に基づいて結論を導き出す「思考力」が身についている。 - 自分の考えや実験の結果を、レポートやリフレクションシートを通じて論理的かつ正確に記述・表現する力が身についている。	- グループワークや対話型学習に積極的に参加し、他者の意見を取り入れながら課題解決に取り組む姿勢を養う。 - 学習内容を自己評価（リフレクション）し、自らの理解の到達度や課題を客観的に把握することで、主体的に学びを改善する態度を身につける。
評価の方法	パフォーマンス課題、小テスト、リフレクション、実験レポート、定期考査、単元テスト	パフォーマンス課題、グループ課題、リフレクション、実験レポート、定期考査、単元テスト	パフォーマンス課題、グループ課題、リフレクション、実験レポート

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	生物基礎を学ぶにあたって、科学的な探究の方法	1	・定期考査
	生物の共通性（細胞、代謝、遺伝情報、恒常性など）、多様性	3	・小テスト
	真核細胞・原核細胞、細胞小器官の構造とはたらき	4	・演習プリント
	異化・同化、酵素の性質、酵素と活性化エネルギー	3	・パフォーマンス課題
	遺伝情報とDNA	3	・リフレクションなど
	遺伝情報の複製と分配	3	
	遺伝情報の発現	3	
2学期	体液（血液、組織液、リンパ液）、恒常性（ホメオスタシス）の意義	2	
	神経系の構造と機能、刺激の受容と反応、自律神経系のはたらき	3	
	内分泌腺、ホルモンの種類と作用、フィードバック調節、血糖濃度調節	3	
	物質の合成・分解・貯蔵、解毒作用、胆汁の生成	2	
	腎臓の構造、尿の生成過程（ろ過・再吸収・分泌）、体液濃度調節	4	
	物理的・化学的防御、自然免疫（食作用）、獲得免疫（体液性免疫・細胞性免疫）	4	
	アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全、予防接種	4	
3学期	種の多様性、系統樹、分類の階層（ドメイン、界など）	3	
	植生と遷移	2	
	植生の分布とバイオーム	2	
	生態系と生物の多様性	3	
	生態系のバランスと保全	2	
	炭素循環、窒素循環、エネルギーの流れ	2	
	問題演習等	4	

--	--	--	--